



オリーブの不思議な力



洛南高等学校附属小学校

4年2組

NAME 西島 駿貴

1 調べようと思ったきっかけ

- ① ペットボトルを切った容器に、レモンの枝と水を入れ、あげはの幼虫を飼っていました。幼虫が水に落ちても溺れないように、オリーブの枝を短く切って(以下きざみ)入れてやりました。



すると、オリーブを入れないで飼育していた時は、幼虫がレモンの葉を食べきる前(3~4日)に葉が枯れてしまったのに、オリーブを入れたら、(1週間)枯れることなく、枝についた葉を全部食べてしまいました。

オリーブを入れると、なぜ、レモンの葉が枯れなかったのか不思議でした。

- ② そして、メダカの飼育をする時、水がきれいになるかもしれないと考え、水槽にオリーブの枝を数本入れてみました。すると、1か月ぐらいたってから全部葉がなくなった。

別の水槽では、枝を底石に突き刺してみました。

すると、約3か月も葉がなくならなかった。(最後は軸だけになった)



そこで、オリーブには、どんなすごい力があるのか調べてみようと思いました。

2. 方針

考え方 | オリーブを入れると植物が枯れにくいのかどうか調べる。

実験 | 室内

ガーベラと菊の花(透明のプラスチックカップ(7月無)に入れる。)オリーブの枝を入れたものと入れないもの、花の枯れ具合を調べてみる。

予想 | オリーブ(枝)を入れた方が長持ちする。



結果 | オリーブ(枝)を入れた方が1日だけ長持ちした。

分かったこと | あまり変わらない。

実験2:室内

ガーベラと菊の花(透明のプラスチックカップ(79有)に入れる。)

オリーブの枝ときざみを入れたものと入れないもので、花の枯れ具合を調べてみる。

予想:オリーブ(枝ときざみ)を入れた方が長持ちする。



結果:オリーブ(枝ときざみ)を入れた方が何日も長持ちした。

分かったこと:オリーブの何かの力が働いている。

実験3:室内

レモンの枝(透明のプラスチックカップ(79有)に入れる。)

オリーブのきざみを入れたものと入れないもので、花の枯れ具合を調べてみる。

予想:オリーブ(きざみ)を入れた方が長持ちする。



結果にオリーブ(きざみ)を入れても入れなくは、レモンは同じように枯れてしまった。

分かったことは、きざみの時、玄関で幼虫飼育の時オリーブを入れた方が、レモンの葉は長持ちしたのに、室内ではオリーブの交因果はなかった。ただ玄関では7月無だった。

実験1~3の結果と、玄関(幼虫の飼育)の結果のまとめ

		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
1	ふた(+) 室内	オリーブ(-)	変化なし	変化なし	少し弱る	花が枯れた	花が枯れた		ガ ー バ ー
	ふた(+) 室内	オリーブ(特付)	変化なし	変化なし	変化なし	少し弱る	花が枯れた	花が枯れた	
2	ふた(+) 室内	オリーブ(-)	変化なし	変化なし	少し弱る	花が枯れた	花が枯れた		レ モ ン
	ふた(+) 室内	オリーブ(林きざみ+)	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	少し弱る	少し弱る	
3	ふた(+) 室内	オリーブ(-)	変化なし	変化なし	少し弱る	葉が枯れた	葉が枯れた	葉が枯れた	レ モ ン
	ふた(+) 室内	オリーブ(きざみ+)	変化なし	変化なし	少し弱る	葉が枯れた	葉が枯れた	葉が枯れた	
	玄関	オリーブ(きざみ)	変化なし	変化なし	変化なし	葉が枯れた	葉が枯れた	葉が枯れた	

まとめから分かったこと

室内では、フタがあっても無くても、オリーブの枝を入れた方が植物は長持ちすることが分かった。

室内では、オリーブ(詰めだけ)は変わらない
あげはの幼虫の飼育は、玄関でオリーブ(詰め) (ただし長めだけ)を入れ、フタ無で行っていました。

玄関には東と南に窓があり日が差していた。

このことからオリーブ(詰め)の夜か果を得るには、葉に光を当てた方がよいと考えられる。

考え方2: オリーブは水槽の中でどうなったか。

結果: 水槽に入れただけの時、1か月もた。

底石に刺した時、3か月もた。

分かったこと: オリーブは水中の中で水草のように生えられる。

水槽に入れただけの時と、底石に刺した時では、

オリーブの寿命が違った。その差は何だろうか?

僕は、去年の研究で、「ろ過バクテリア」について勉強した。

~~フタの水槽に入れただけの時と~~、底石には、

ろ過バクテリアがいる。ろ過バクテリアは、フタのフンの毒小生を弱め、それが水草の肥料になる。

この循環のためには、ふくぶく(酸素を供給)

LEDライト(光)などが必要です。だから、水中でも長持ちしたのではないだろうか。

3、オリーブについて調べたこと

強力な殺菌力で風邪ウイルスなどの有害微生物、寄生虫を死滅させて免疫性を高める。

ヨーロッパでは昔から伝承薬としてオリーブ葉は活用されてきました。

オリーブの葉から抽出されたエキスに含まれるオレウロペインには、ビタミンEに匹敵するほどの強力な抗酸化作用やコラーゲンの生成補足効果と様々な働きもあると言われています。このオレウロペインの強力な抗酸化効果は老化防止、活性酸素抑制、抗炎症作用、抗菌作用、利尿作用など様々な効果があるとされています。

4、考察と感想

今回の結果や調べたことから僕が考えた事は、

- ① オリーブを入れることにより、植物が長持ちした。
- ② オリーブの葉には抗菌作用などの効果がある。
- ③ 抗菌作用により水の中のはい菌が減り、水が腐りにくくなったから植物が長持ちしたのではないかな。
- ④ オリーブは、ふくふくとLEDライトのある水槽でも1~3ヶ月生きられる。
- ⑤ オリーブは、底石に刺さると、水中で長持ちする。
- ⑥ オリーブは、1ヶ月くらいなら、水草のように、水生植物になれるかもしれない。
- ⑦ 底石には、3週バクテリアがいて、3週バクテリアが作った硝酸イオンを、オリーブが、肥料にしたのかもしれない。

こんなにおいしいオリーブだから、昔から薬としても使われていたのだ”と
思います。

そこで、僕は、家で飼っているカニの水槽にもオリーブ
挿入しています。



カニの水は、エサですぐに腐るので、少し効果がありそうです。
それから、切り花を活ける時こそ、絶対にオリーブと一緒に
入れるべきだと思います。

これから、もっともっとオリーブの力を試してみたいです。

5、参考にした本など

水草のひみつ 寺矢登

医者も知らないオリーブ葉エキスのカ モートンウォーカー

オリーブアカデミーHP oliveacademy.buysyshop.jp